

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2018-83120(P2018-83120A)

【公開日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2018-020

【出願番号】特願2018-20748(P2018-20748)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月6日(2018.11.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ記憶手段に記憶された一群の原音データに基づいて、単位演出を再生する複数の再生チャンネル、各再生チャンネルの再生動作を規定する動作パラメータを記憶可能な一群の音声制御レジスタ、及び、前記データ記憶手段に記憶された一群の制御データを読み出して音声制御レジスタへの設定動作を実行可能な第 1 設定コントローラ及び第 2 設定コントローラと、を有する音声合成手段と、

所定の音声制御レジスタに、所定の動作パラメータを直接的に設定するか、又は音声合成手段に設定させることで、一又は複数の再生チャンネルの動作を制御して、一又は複数の単位演出による音声演出を実現する演出制御手段と、を設けた遊技機であって、

前記一群の制御データは、音声制御レジスタを特定するレジスタアドレスと、その音声制御レジスタへの設定値とを対応させ、所定の終了コードで終端され、所定の識別番号で特定されるよう構成され、

第 1 設定コントローラと第 2 設定コントローラは、前記識別番号を含んだ一連の開始指示が、所定の音声制御レジスタに設定されると、前記一群の制御データに対応する設定動作を実行するよう構成されており、

所定の音声演出時には、第 2 設定コントローラを起動させる開始指示に関する設定動作が、第 1 設定コントローラによって実行されることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記の課題を解決するため、本発明は、データ記憶手段に記憶された一群の原音データに基づいて、単位演出を再生する複数の再生チャンネル、各再生チャンネルの再生動作を規定する動作パラメータを記憶可能な一群の音声制御レジスタ、及び、前記データ記憶手段に記憶された一群の制御データを読み出して音声制御レジスタへの設定動作を実行可能

な第１設定コントローラ及び第２設定コントローラと、を有する音声合成手段と、所定の音声制御レジスタに、所定の動作パラメータを直接的に設定するか、又は音声合成手段に設定させることで、一又は複数の再生チャンネルの動作を制御して、一又は複数の単位演出による音声演出を実現する演出制御手段と、を設けた遊技機であって、前記一群の制御データは、音声制御レジスタを特定するレジスタアドレスと、その音声制御レジスタへの設定値とを対応させ、所定の終了コードで終端され、所定の識別番号で特定されるよう構成され、第１設定コントローラと第２設定コントローラは、前記識別番号を含んだ一連の開始指示が、所定の音声制御レジスタに設定されると、前記一群の制御データに対応する設定動作を実行するよう構成されており、所定の音声演出時には、第２設定コントローラを起動させる開始指示に関する設定動作が、第１設定コントローラによって実行される。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

本発明は、弾球遊技機に限定されず、回胴遊技機やその他の遊技機に適用するのも好適である。